

## 目標達成計画

作成日: 平成28年10月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26   (13)	サービス計画書に家族の意向を書くようになっており反映できるのが次回の更新時になってしまっている。その為、家族の意向を直近のプランに反映できる仕組みができていない。	ケアプラン更新時に家族の意向を汲み取り、プランに反映できる仕組み作りをする。	・ケアプラン更新時の担当者会議前に家族へ文書を送付し意向の確認を行う。 ・サービス担当者会議の時には家族の意向が返送されてきおり、それを元にプランを検討していく。	12ヶ月
2	1   (1)	ホームとしての理念があり掲示してあるが目が止まりにくく、職員に周知が出来ていない状況がある。	ホームとしての理念が浸透し、それに基づいて入居者との生活を考え、行動できるようになる。	・ホームの理念が書いた物を見やすい様式に変更し目に止まる所へ掲示するよう変更する。	12ヶ月
3	35   (17)	発生する危険性がある災害として裏の池の決壊や地震等があるが実際にマニュアルに沿った訓練は行えておらず、地域と協力していく体制もできていない。	災害時の訓練を行い、法人全体のマニュアルではなくグループホーム独自のことを組み込めるよう見直しを行い、地域との協力体制を構築し緊急時に備えることができる。	・グループホームで想定される災害リスクに対し、併設する特別養護老人ホームと共同し、避難訓練を行う。	12ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。